

你好!(ネイホウ

宮崎県香港事務所通信











Mail: info@miyazaki-pref.hk

豪華クルーズ船に乗船し、宮崎の焼酎・神楽をPR!

2021年9月下旬

コロナ禍による長引く越境・集合規制が続く中ではありますが、 日本への寄港実績も多い香港大手クルーズ社のGENTING DREAM 号の香港発着無寄港のクルーズ企画において、9月から 約1ヶ月間にわたり、"Japan Festival"と称し、日本観光をテー マにした約1ヶ月の船内イベントが実施されました。

その取組の中で、香港事務所では、4日間乗船し、訪日旅行意 欲が旺盛で高所得層の乗客に対し、宮崎の観光・文化やグルメ の紹介と併せ、県産の焼酎・スナックの試飲試食や神楽彫り物 づくり紹介など交流・体験を組みあわせたプログラムを提供す るセミナーを実施し、宮崎の魅力をPRいたしました。

セミナーに参加したお客からは、「原料や製造工程、割り方など焼酎の奥深さを勉強でき、またスナックとの相性も抜群でとても美味しく面白かった。」「彫り物の由来や様々な美しい絵柄を知ることができたので、ぜひ実際に宮崎で神楽を見て彫り物づくりを体験したい。」との声を多くいただくなど、大変喜んでいただき好評を得ることができました。

また、クルーズ会社からも本県のプログラム内容への興味・関心や評価をいただくなど、宮崎をアピールできるコンテンツとして、大きな可能性を感じたところです。

コロナ収束後の近い将来における宮崎へのクルーズ誘致や誘客 の促進、さらには焼酎等の県産品の販売促進や消費拡大に繋が ることを期待し、更なる取り組みを進めてまいります。



焼酎PR・試飲体験の模様



高千穂神楽・彫り物紹介の模様

サプライヤーと連携して宮崎牛をPR!

2021年11月中旬~12月中旬



香港尖沙咀で宮崎牛コースと 県産ワインのフェアを実施



インスタグラマーによるフェアPR



宮崎牛指定店認定式 & むうちゃん1日店長

輸出入が必要な海外市場では、県産品の安全安心と品質を保証し、自信を持って売り出すために、国内からの輸出者と現地の輸入者、そして販売網を持つ現地卸の連携が重要です。

県やJA宮崎経済連で組織する「より良き宮崎牛づくり対策協議会」では、宮崎牛の取扱ルートが明確であり、常設メニューとして月50kg以上取り扱う飲食店を宮崎牛指定店として認定し、ブランディング効果を創出しています。

香港では今年度、輸入者と卸を兼ねたサプライヤーであるEN-GROUPの焼肉店とレストラン6店舗を新たに認定いたしました。

認定式典と同時に開催したフェアでは、宮崎牛の様々な部位や肉寿司を提供するコースをPRし、家族連れに人気のレストランではむうちゃんに 1日店長を務めてもらいました。

宮崎県産品輸出の主力である宮崎牛のさらなる 輸出拡大を御期待ください。

(m)

Live配信ウェビナーで宮崎観光プロモーション!

長引くコロナ禍や移動規制等により益々高まる訪日旅行ニーズ や安全・安心な旅への興味・関心への対応、そして地道な宮崎 のファンづくりのため、事務所では初めて、ウェビナー形式で の宮崎プロモーションを実施しました。

宮崎訪問経験のある香港人KOLと宮崎在住香港人2人をメインキャストとし、"デトックストリップ宮崎"をテーマに、宮崎のリアルでライブ感溢れる映像等を織り交ぜた観光スポット等の紹介と併せ、軽快で魅力的な対談トークで進行しました。

ブログラムの中では、2人が実際に地鶏炭火焼やきんかん、焼酎等の試飲・試食する模様を配信したり、宮崎の特産品が当たるゲームやクイズのコーナーを盛り込むなど、視聴者の興味・関心を高める演出・内容に工夫を凝らせました。

その結果、視聴者数やリーチ数など目標を上回る一定の成果を 得ることができました。

また、視聴者の反応やコメントからも「まるで宮崎に旅行しているようで楽しかった。いつか実際に宮崎に旅行したい。」「早速、香港にある宮崎グルメが食べられる飲食店に行きたい。」など、宮崎の観光・物産への認知・好感度の向上や旅行意欲の喚起に繋げることができました。



ウェビナースタジオの模様



きんかんPR・試食の模様

2021年11月中旬~12月上旬

南九州の郷土料理教室を開催♪



広東語が堪能で現地TVなどで 活躍する日本人料理人が講師



夫婦で仲良く参加 「是非家でも作りたい」と好評



第3回 参加者記念撮影 普段は料理をしない方から 教室の常連さんまで幅広い参加

人口750万人に対して年間200万人を超える訪日旅行実績を誇る香港。そんな日本好きの香港ですが、高級海鮮や和牛に人気が集まる一方で、郷土料理はあまり知られていません。

今回、地域に根付いた郷土料理に光を当てることで、食材の輸出の幅や、すそ野を広げようと、調理専門学校、日系商社(香港三菱商事、ZenFoods)および鹿児島県と連携して、全3回の南九州の郷土料理教室を開催しました。

予約開始後2日で3つの回全でが満席となるなど、郷土料理への関心の高さが伺え、また各回で鰹節の削り方、出汁の取り方など和食の基礎を交えながら参加者に南九州の食文化を学んでもらいました。参加者からは「コロナ禍で家で料理する機会も増えた。このレシピで家族と旅行気分を味わいたい。」といった声が聞かれ、食文化から宮崎をPRすることができました。

ゼロコロナ施策により域内への流入を防ぎ、域内の規制が緩和された中で初めてとなるクリスマスを迎えた香港では、各所で工夫を凝らしたクリスマスツリーが並びました。

また、香港の新しい芸能文化の拠点として40haの埋め立て開発が進む西九龍文化地区に設営されたステージでカウントダウンコンサートも開催され、香港で人気沸騰中のMIRRORが出演し盛り上がるなどコロナ前の賑わいを取り戻したかのような年末年始でした。

※その後、残念ながら域内感染が発生し、18時以降の店内飲食禁止 やイベント中止が続く厳しい1月となっています。



クリスマスツリー



カウントダウンコンサート